



**JASDAQ**

2016年4月20日

各 位

スパークス・グループ株式会社  
代表取締役社長 阿部 修平  
(東証JASDAQスタンダード:8739)

## 当社子会社における調査結果レポートの発表について

女性投資家の生活実態に関する意識調査を実施

本日、当社子会社であるスパークス・アセット・マネジメント株式会社(代表取締役社長 阿部 修平)は、標記に関する下記のプレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

### ■ 調査内容

女性投資家の関心や投資行動を明らかにするため、2016年3月4日～3月9日の6日間、全国の20歳以上の女性投資家(日本株式、外国株式、公社債、投資信託、REIT、金・プラチナなどの金融資産に現在投資をしている女性)を対象に、「女性投資家の生活実態調査2016」をインターネットリサーチにより実施し、1,000名の有効サンプルを集計しました。(調査協力会社:ネットエイジア株式会社)

### ■ 掲載 URL: <http://www.sparx.co.jp/news/uploads/pdf/PressJ160420.pdf>

### ■ 添付資料:

女性投資家の生活実態調査2016  
(スパークス・アセット・マネジメント株式会社 調べ)

### ■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 経営管理部  
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101



2016年4月20日

各位

## 女性投資家の生活実態調査 2016

**20代・30代女性は「経済ニュース」よりも「ネットの話題」を投資に活用  
女性目線の将来有望株に「Spiber」「ZMP」、20代は「メルカリ」にも注目**

スパークス・アセット・マネジメント株式会社 (<http://www.sparx.co.jp/>) (東京都品川区。代表取締役社長 阿部修平)は、女性投資家の関心や投資行動を明らかにするため、2016年3月4日～3月9日の6日間、全国の20歳以上の女性投資家(日本株式、外国株式、公社債、投資信託、REIT、金・プラチナなどの金融資産に現在投資をしている女性)を対象に、「女性投資家の生活実態調査2016」をインターネットリサーチにより実施し、1,000名の有効サンプルを集計しました。なお本レポートは、サンプル調査という性質上、実態を全て反映したものではありません。また、特定の投資商品や個別銘柄の取引を勧誘する目的で作成したものではありません。(調査協力会社: ネットエイジア株式会社)

### ▼ 女性投資家の投資スタンス ……P.2-5

- マイナス金利時代の投資意識！投資目標は「大きな利益」でなく「預金より良い利回り」が多数
- 投資で生活の質が向上 女性投資家「投資で得た知識や考え方は日常生活に役立つ」7割半
- 投資を通じて「経済ニュースへの関心UP」7割強
- 20代女性は投資のおかげでリアルも充実？「人脈が広がった」「時間管理が上手くなった」の声
- “暮らし目線”の投資術 カブジヨの8割は「日常生活で得た情報や気付きは投資に役立つ」と実感
- 20代・30代女性は「経済ニュース」よりも「ネットの話題」を投資に活用

### ▼ 女性投資家が注目していること ……P.6-11

- 女性の周りにヒットの種？「女性ファンが多い商品は成功率高い」女性投資家の6割が実感！
- 女性投資家が今後“来る”と感じるアプリ・サービスとは？ 3位に「定額映像見放題サービス」
- 女性が成長を予感する注目産業  
20代・30代は「育児・教育サービス」、シニアは「ロボット関連」や「介護サービス」
- 女性投資家は「東京メトロ」「USJ」「LINE」を安定株と判断、「郵政3社」と同等以上の評価に
- 女性目線の将来有望株 上位に「Spiber」「ZMP」、20代は「メルカリ」にも注目
- 株主優待がつくなら投資したい会社 1位は「USJ」
- 「働く女性を応援する企業への投資に関心あり」女性投資家の6割強が同意
- 女性投資家が注目する、各界の若手有望株ランキング！  
スポーツ界1位「大谷翔平選手」、お笑い界1位「おかずクラブ」、俳優界1位「広瀬すずさん」

### ▼ 女性投資家は自動運転・家庭用ロボット・再生可能エネルギーをどうみる？ ……P.12-13

- 事故を起こさない自動運転車があったら？7割以上が「価格次第で買ってみたい」
- 家事も会話もできる家庭用ロボット「20万円」なら女性投資家の4人に1人以上が購入か
- 電力自由化への関心は？「値上がりするとしてもクリーンな電力に乗り替えたい」5割半
- 環境への投資？女性投資家の4人に1人が「月額2,000円増で済むなら、クリーンな電力を選択」

#### ◆◆報道関係の皆様へ◆◆

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、  
「スパークス・アセット・マネジメント調べ」と付記のうえ、  
ご使用いただきますようお願い申し上げます。

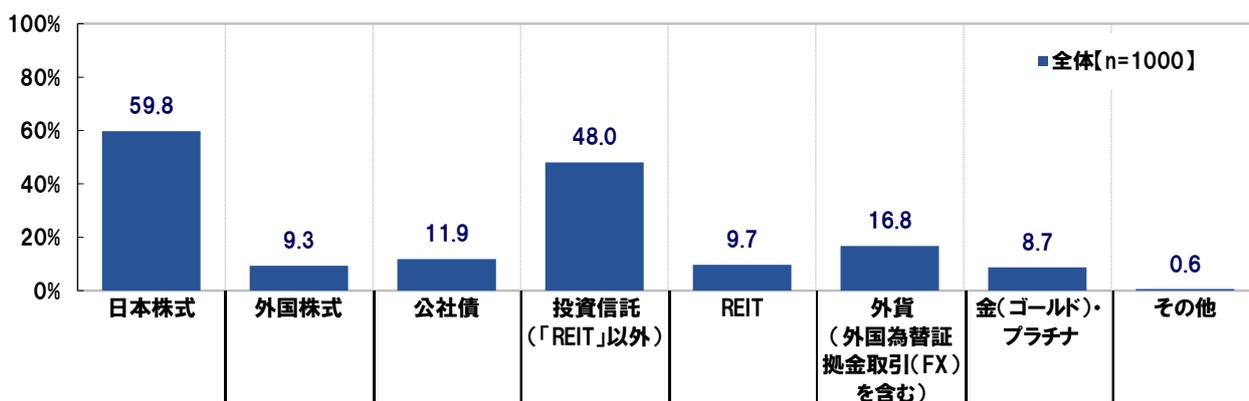
## ▼女性投資家の投資スタンス

### ◆マイナス金利時代の投資意識！投資目標は「大きな利益」でなく「預金より良い利回り」が多数

はじめに、全国の20歳以上の女性投資家1,000名(全回答者)に、現在、投資している金融資産を聞いたところ、最多回答は「日本株式」(59.8%)、次いで「投資信託」(48.0%)、「外貨(外国為替証拠金取引(FX)を含む)」(16.8%)、「公社債」(11.9%)が続きました。日本株式や投資信託が、女性投資家に特に人気のある投資先のようにです。[図1]

[図1]

#### ◆現在、投資している金融資産 [複数回答形式]



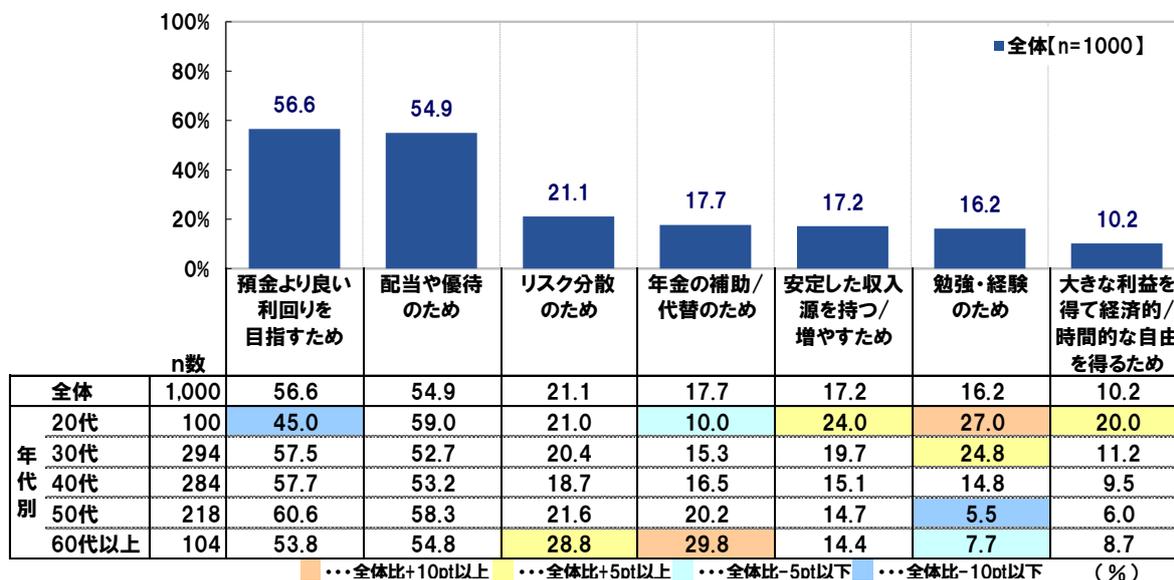
次に、投資の目的・目標について聞いたところ、「預金より良い利回りを目指すため」(56.6%)と「配当や優待のため」(54.9%)が5割半で最上位の回答となり、以下、「リスク分散のため」(21.1%)が2割台、「年金の補助/代替のため」(17.7%)や「安定した収入源を持つ/増やすため」(17.2%)、「勉強/経験のため」(16.2%)、「大きな利益を得て経済的/時間的な自由を得るため」(10.2%)が1割台で続きました。“投資で大きく稼ごう”と考えている女性投資家は少数派で、配当金や優待などで“預金より良い利回り”程度のリターンを得ることを目標にしている方が多数派のようです。

年代別にみると、60代以上は「年金の補助/代替のため」(29.8%)がその他の年代より高く、20代では「勉強/経験のため」(27.0%)がその他の年代より高くなりました。若い方には社会勉強目的で投資に取り組む方も多いようです。

[図2]

[図2]

#### ◆投資の目的・目標 [複数回答形式] ※全体の回答比率が10%以上の項目を抜粋



◆投資で生活の質が向上 女性投資家「投資で得た知識や考え方は日常生活に役立つ」7割半

◆投資を通じて「経済ニュースへの関心 UP」7割強

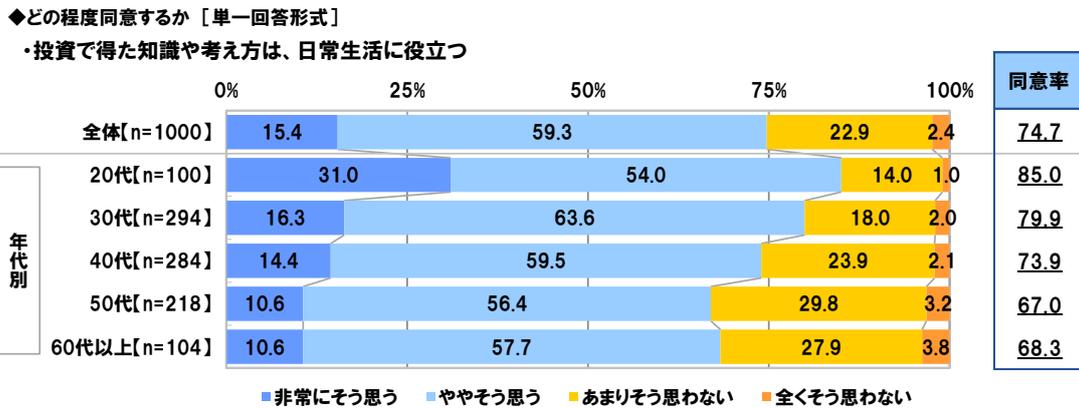
◆20代女性は投資のおかげでリアルも充実？「人脈が広がった」「時間管理が上手くなった」の声

投資をすることで、日常生活にはどのような変化が訪れたのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、「投資で得た知識や考え方は、日常生活に役立つ」と思うか聞いたところ、同意率(「非常にそう思う」と「ややそう思う」の合計、以下同様)は74.7%となりました。4人中3人の割合で、投資で得た経験が日常生活に良い影響を与えたと感じているようです。

年代別にみると、若い年代では同意率が高い傾向がみられ、20代では85.0%、30代では79.9%となっています。投資を通じた社会勉強で、日常生活に良い影響があったと実感している方が多いようです。[図3]

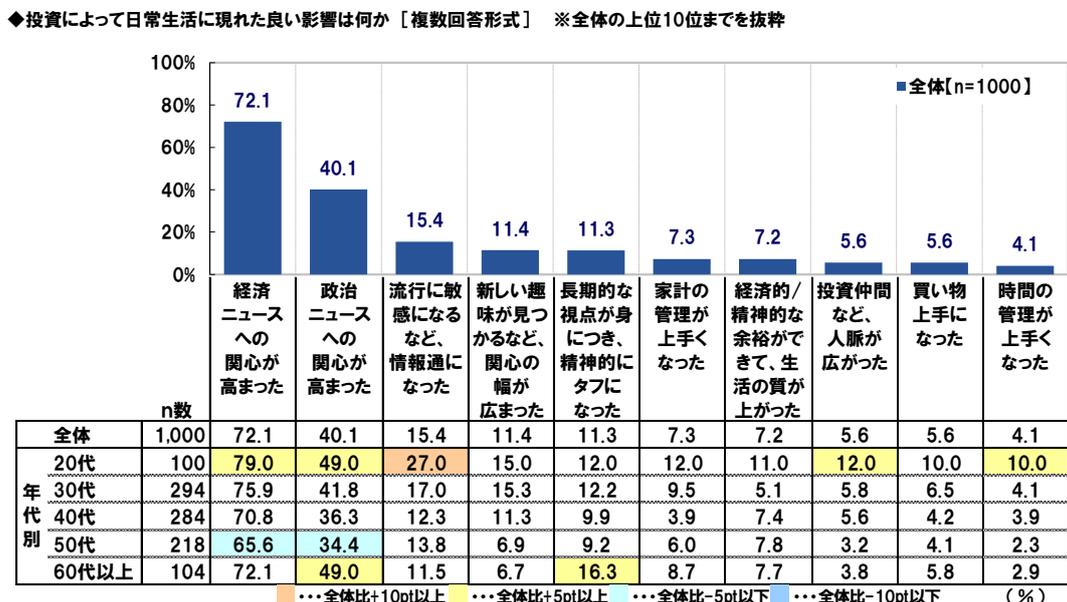
[図3]



次に、投資によって日常生活に現れた良い影響は何かを聞いたところ、「経済ニュースへの関心が高まった」が72.1%で最も高く、次いで、「政治ニュースへの関心が高まった」が40.1%、以下1割台で「流行に敏感になるなど、情報通になった」(15.4%)、「新しい趣味が見つかるなど、関心の幅が広まった」(11.4%)、「長期的な視点が身につく、精神的にタフになった」(11.3%)が続きました。投資を通じて、政治・経済ニュースへの関心が高まったことを多くの方が実感しており、また、流行に敏感になることで、新しい趣味が見つかった方も少なくないことがわかりました。

年代別にみると、20代では「投資仲間など、人脈が広がった」(12.0%)や「時間の管理が上手くなった」(10.0%)といった回答も1割台となり、その他の年代より高くなりました。投資が人脈形成につながったり、タイムマネジメント力を向上させたりといった、実生活の充実に繋がるメリットを得られている方もいるようです。[図4]

[図4]



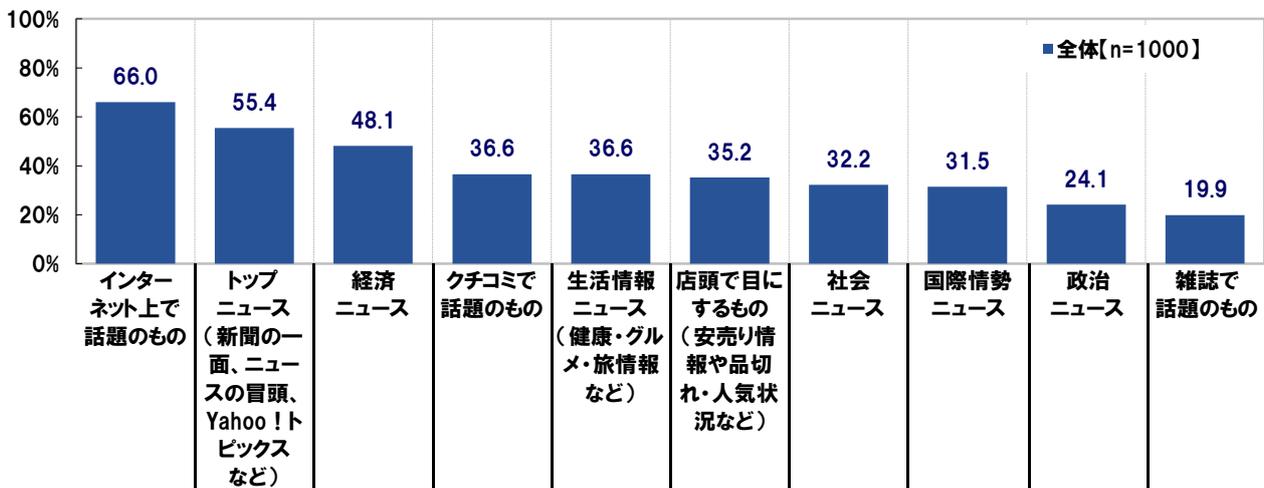
◆ “暮らし目線”の投資術 カブジヨの8割は「日常生活で得た情報や気付きは投資に役立つ」と実感

女性投資家は普段、どのような情報をチェックしているのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、どんな情報に敏感か(普段チェックしていたり、ふと目・耳にしたら気になってしまったりするか)を聞いたところ、「インターネット上で話題のもの」が66.0%で最も高く、次いで、「トップニュース(新聞の一面、ニュースの冒頭、Yahoo!トピックスなど)」が55.4%、「経済ニュース」が48.1%で続きました。トップニュースや経済ニュースにアンテナを張っているようですが、それ以上にインターネット上で盛り上がっている話題に敏感なようです。また、「クチコミで話題のもの」や「生活情報ニュース(健康・グルメ・旅情報など)」(ともに36.6%)、「店頭で目にするもの(安売り情報や品切れ・人気状況など)」(35.2%)といった、日常生活に関連する情報が3割後半で上位回答となっています。ニュースとして報道される情報だけでなく、生活に密接した情報に敏感な女性投資家が多いようです。[図5]

[図5]

◆どんな情報に敏感か(普段チェックしていたり、ふと目・耳にしたら気になってしまったりするか) [複数回答形式]  
※全体の上位10位までを抜粋



それでは、そういった“暮らし目線”の情報が、投資に活かせることはあるのでしょうか。

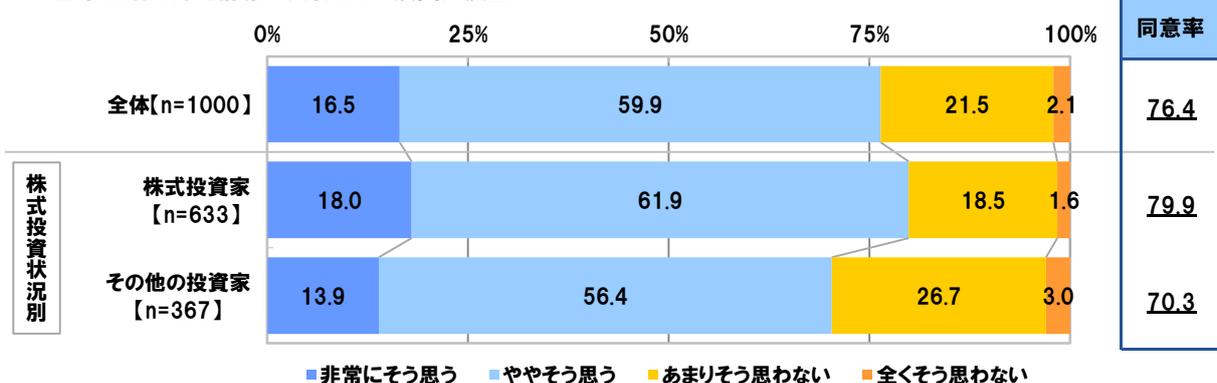
全回答者(1,000名)に、「日常生活で得た情報や気付きは、投資に役立つ」と思うか聞いたところ、同意率は76.4%と、4人中3人の割合になりました。

株式投資家と、株式には投資していないその他の投資家で分けてみると、株式投資家は同意率が79.9%と、その他の投資家(70.3%)より高くなりました。暮らし目線の情報や気付きを活用して、投資で利益を上げた“カブジヨ”が多いのではないのでしょうか。[図6]

[図6]

◆どの程度同意するか [単一回答形式]

・日常生活で得た情報や気付きは、投資に役立つ



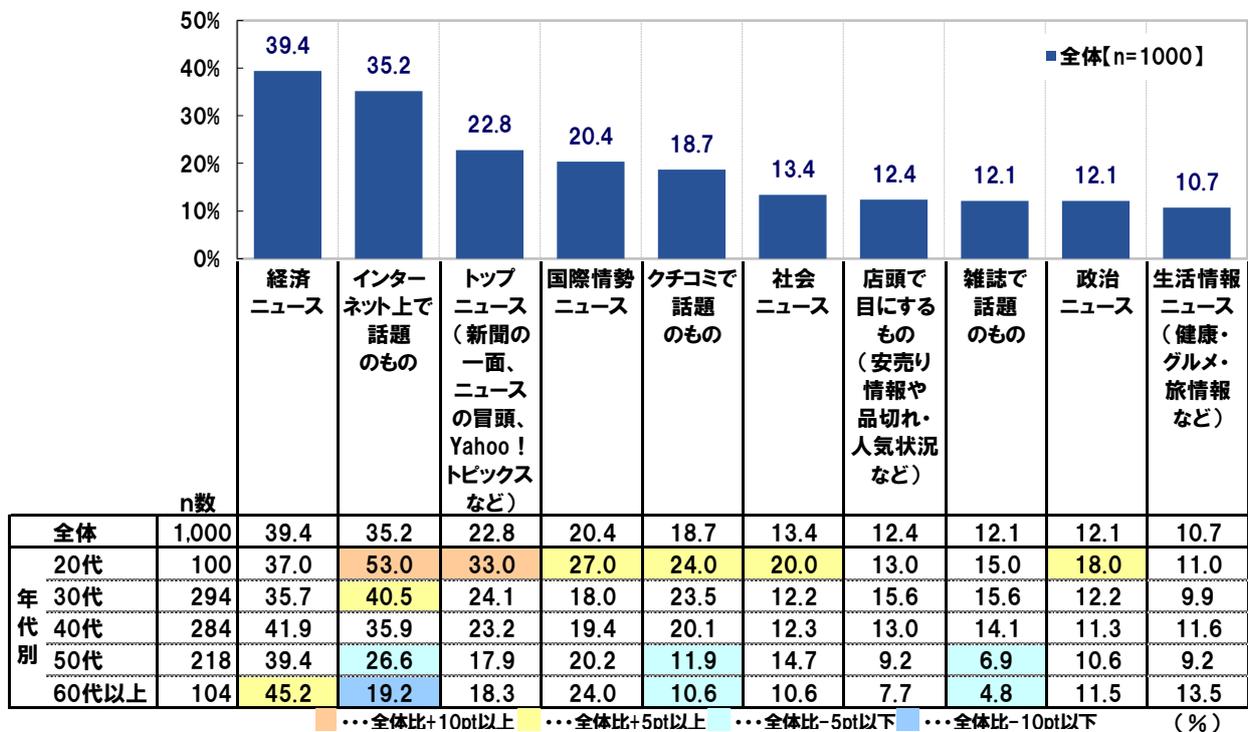
◆20代・30代女性は「経済ニュース」よりも「ネットの話題」を投資に活用

続いて、どんな情報を実際に投資に活かした(役立てた)ことがあるか聞いたところ、「経済ニュース」が39.4%で最も高く、「インターネット上で話題のもの」が35.2%、「トップニュース」が22.8%、「国際情勢ニュース」が20.4%、「クチコミで話題のもの」が18.7%で続きました。経済ニュースや国際情勢ニュースとともに、インターネット上の話題やクチコミの話題が上位回答となっており、実際に“暮らし目線”の情報が投資に活かされている様子がうかがえます。

年代別にみると、20代や30代では、「インターネット上で話題のもの」(20代53.0%、30代40.5%、以下同順)が「経済ニュース」(37.0%、35.7%)よりも高く、20代・30代の女性投資家が最も投資に活用したことがある情報となっています。また、「クチコミで話題のもの」(24.0%、23.5%)はその他の年代よりも高くなりました。若い女性投資家では、インターネットやクチコミから“流行の兆し”をみつけて投資先を決める、といった投資スタンスも珍しくないようです。[図7]

[図7]

◆どんな情報を実際に投資に活かした(役立てた)ことがあるか [複数回答形式] ※全体の上位10位までを抜粋



## ▼女性投資家が注目していること

### ◆女性の周りにヒットの種？「女性ファンが多い商品は成功率高い」女性投資家の6割が実感！

女性投資家は商品やサービスの利用経験を通して、“流行の兆し”を感じることはあるのでしょうか。

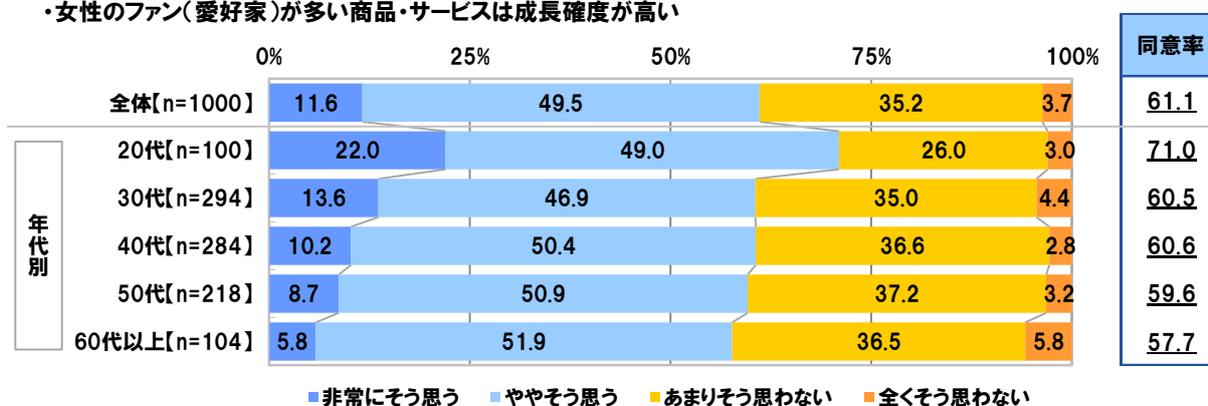
全回答者(1,000名)に、「女性のファン(愛好家)が多い商品・サービスは成長確度が高い」と思うか聞いたところ、同意率は61.1%となりました。自分や友人・知人が愛好している商品やサービスが、後々成長して有名になった、といった経験をしたことのある方が少なくないのかもしれませんが。

年代別にみると、20代は同意率が71.0%と、その他の年代よりも高くなりました。インターネットやクチコミの話題を投資活動に活かす傾向のあった若い女性投資家には、“女性のファンが付いたサービスは成長する”と実感している方が多いようです。[図8]

[図8]

◆どの程度同意するか [単一回答形式]

・女性のファン(愛好家)が多い商品・サービスは成長確度が高い



### ◆女性投資家が今後“来る”と感じるアプリ・サービスとは？ 3位に「定額映像見放題サービス」

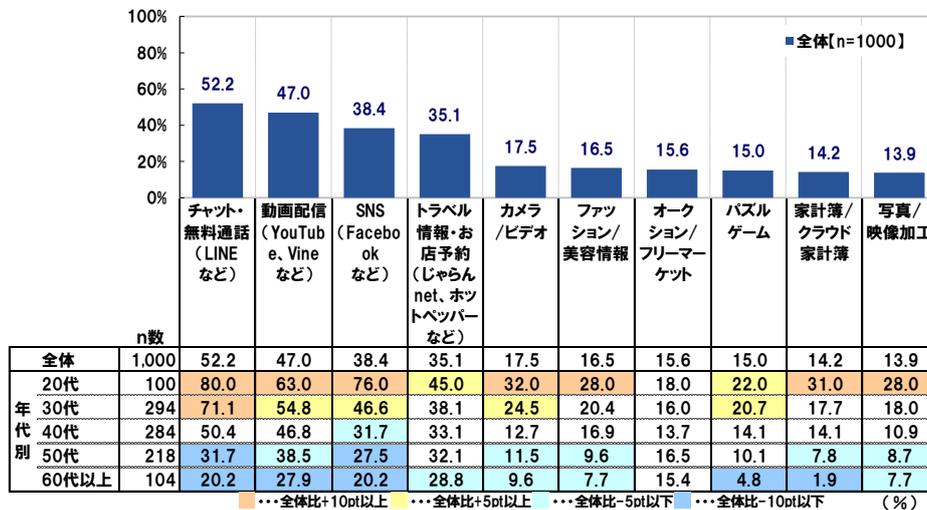
それでは、女性投資家は、現在どのようなサービスに注目しているのでしょうか。日進月歩で進化するスマートフォンアプリや web サービスを題材として、質問を行いました。

まず、全回答者(1,000名)に、現在利用しているアプリや web サービスのジャンルを聞いたところ、「チャット・無料通話(LINE など)」が最も高く 52.2%、次いで、「動画配信(YouTube、Vine など)」が 47.0%、「SNS(Facebook など)」が 38.4%、「トラベル情報・お店予約(じゃらん net、ホットペッパーなど)」が 35.1%で続きました。

年代別にみると、20代では「チャット・無料通話」が 80.0%、「SNS」が 76.0%となったほか、「カメラ/ビデオ」(32.0%)や「写真/映像加工」(28.0%)といった撮影・加工関連や、「家計簿/クラウド家計簿」(31.0%)、「パズルゲーム」(22.0%)など、多くのアプリや web サービスがその他の年代よりも高くなりました。若い女性投資家は、日常生活の様々なシーンでアプリや web サービスを活用しているようです。[図 9]

[図 9]

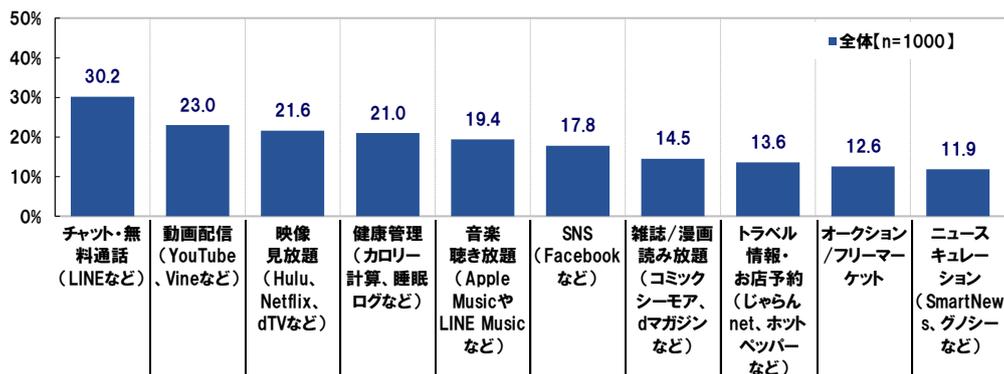
◆現在利用しているアプリやwebサービスのジャンル [複数回答形式] ※全体の上位10位までを抜粋



次に、今後、注目されるな(もっと利用が増えるな、ブームになるな)と感じるアプリや web サービスのジャンルを聞いたところ、「チャット・無料通話」が 30.2%で最も高く、「動画配信」(23.0%)や「映像見放題(Hulu、Netflix、dTV など)」(21.6%)、「健康管理(カロリー計算、睡眠ログなど)」(21.0%)が2割台で続きました。チャット・無料通話は現在利用しているアプリ・web サービスでトップでしたが、更なる利用者増を予想している方が多いようです。また、現在利用しているアプリ・サービスでは上位にみられなかった映像見放題をはじめ、「音楽聴き放題(Apple Music や LINE Music など)」(19.4%)、「雑誌/漫画読み放題(コミックシーモア、dマガジンなど)」(14.5%)などの定額使い放題サービスや、「健康管理(カロリー計算、睡眠ログなど)」などがトップ 10 にランクインしました。これらは、女性投資家が、今後ブームになることを予感しているサービスといえそうです。[図 10]

[図 10]

◆今後、注目されるな(もっと利用が増えるな、ブームになるな)と感じるアプリやwebサービスのジャンル [複数回答形式] ※全体の上位10位までを抜粋



◆女性が成長を予感する注目産業

20代・30代は「育児・教育サービス」、シニアは「ロボット関連」や「介護サービス」

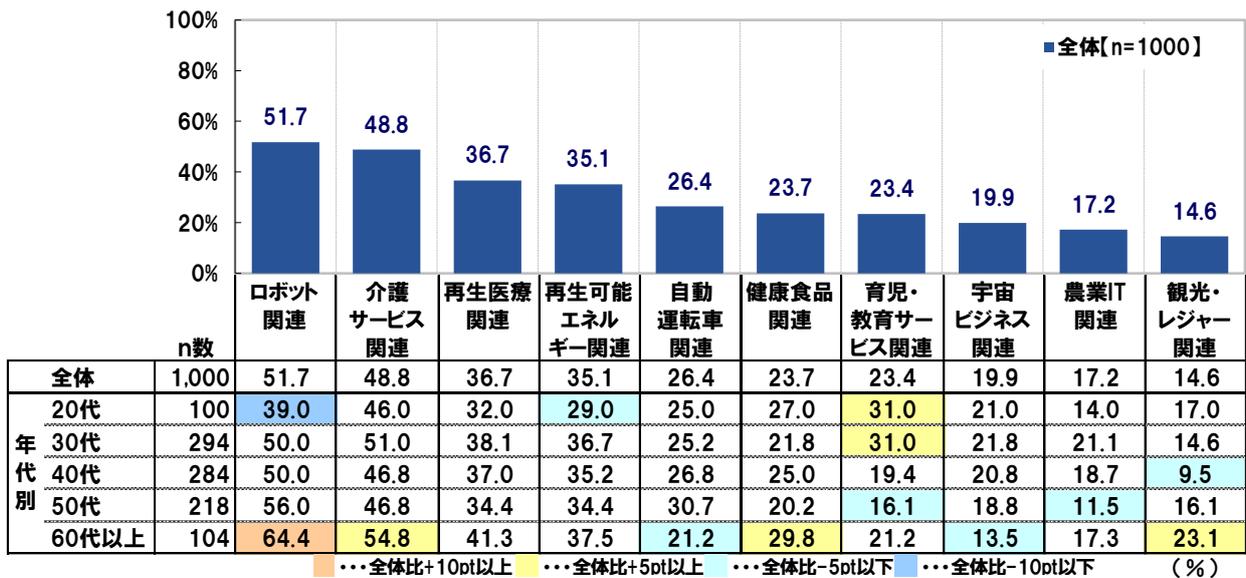
それでは、女性投資家はどのような分野を今後の成長産業と予感しているのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、今後成長が見込めるな(好景気になりそうだな)と感じる分野を聞いたところ、「ロボット関連」が51.7%で最も高く、次いで、「介護サービス関連」(48.8%)が4割台、「再生医療関連」(36.7%)と「再生可能エネルギー関連」(35.1%)が3割台後半で続きました。さまざまな分野への応用が期待されているロボット関連産業、高齢化社会ともなっていて注目が集まっている介護サービス関連産業、政府の成長戦略に組み込まれた再生医療関連産業、電力自由化元年となる今年、普及が期待される再生可能エネルギー関連産業に注目している様子が見えられました。

年代別にみると、20代や30代では「育児・教育サービス関連」(20代・30代ともに31.0%)がその他の年代よりも高く、60代以上では「ロボット関連」(64.4%)や「介護サービス関連」(54.8%)、「健康食品関連」(29.8%)、「観光・レジャー関連」(23.1%)がその他の年代よりも高くなりました。女性の活躍推進や少子化を背景に“子育てしながら働くために必要なこと”に注目が集まる昨今、20代・30代の女性投資家は、育児や教育サービス関連産業の成長を予感しているようです。また、60代以上のシニアは介護サービスに合わせてロボット関連産業に注目しています。介護業界の人手不足が叫ばれるなか、“介護ロボットの開発”に期待を寄せているのではないのでしょうか。[図11]

[図11]

◆今後成長が見込めるな(好景気になりそうだな)と感じる分野 [複数回答形式] ※全体の上位10位までを抜粋

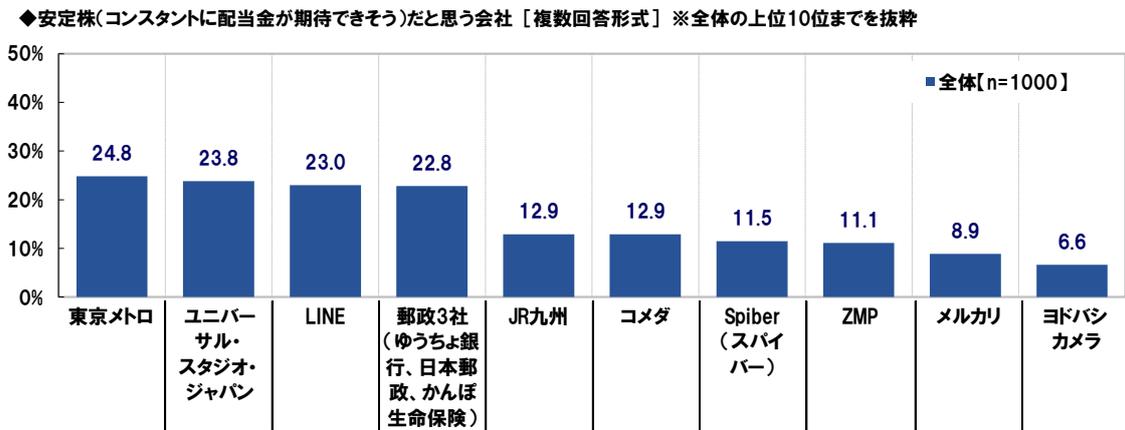


◆女性投資家は「東京メトロ」「USJ」「LINE」を安定株と判断、「郵政3社」と同等以上の評価に  
 ◆女性目線の将来有望株 上位に「Spiber」「ZMP」、20代は「メルカリ」にも注目

女性投資家は、投資対象として、どのような会社に興味を抱いているのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、昨今注目の集まっている会社のなかで、安定株(コンスタントに配当金が期待できそう)だと思う会社を聞いたところ、「東京メトロ」(24.8%)や「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」(23.8%)、「LINE」(23.0%)、「郵政3社(ゆうちょ銀行、日本郵政、かんぽ生命保険)」(22.8%)が2割台で最上位の回答となりました。東京メトロやUSJ、LINEに対しては、昨年上場した郵政3社と同等以上に、長期投資対象として魅力を感じているようです。今後、公開株になるかどうかなど、動向に注目している様子が見えられました。[図12]

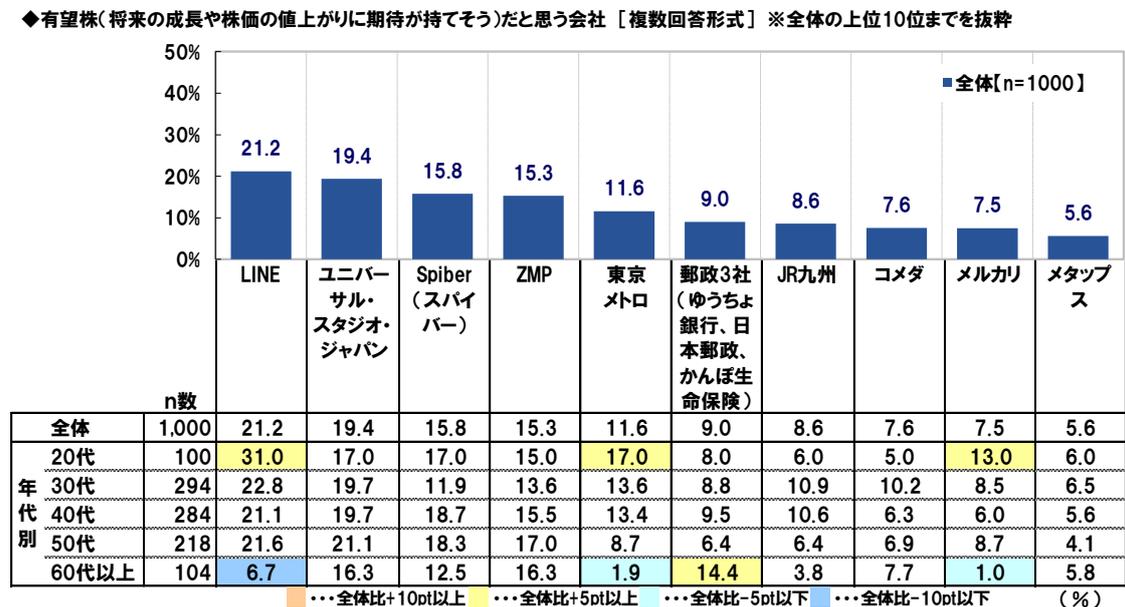
[図12]



次に、有望株(将来の成長や株価の値上がりに期待が持てそう)だと思う会社を聞いたところ、「LINE」(21.2%)、「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」(19.4%)に続いて、次世代バイオ素材を開発する「Spiber(スパイバー)」(15.8%)と、自動運転技術や高度運転支援技術を開発する「ZMP」(15.3%)が1割半で上位回答となりました。女性投資家は、先進的な技術の開発を行う会社にも注目していることがうかがえます。

年代別に見ると、20代ではチャットアプリの「LINE」(31.0%)やフリマアプリの「メルカリ」(13.0%)などがその他の年代よりも高くなりました。アプリやwebサービスを日常的に活用している傾向があった20代の女性投資家は、これらの会社が将来成長しそうだと思っているようです。[図13]

[図13]



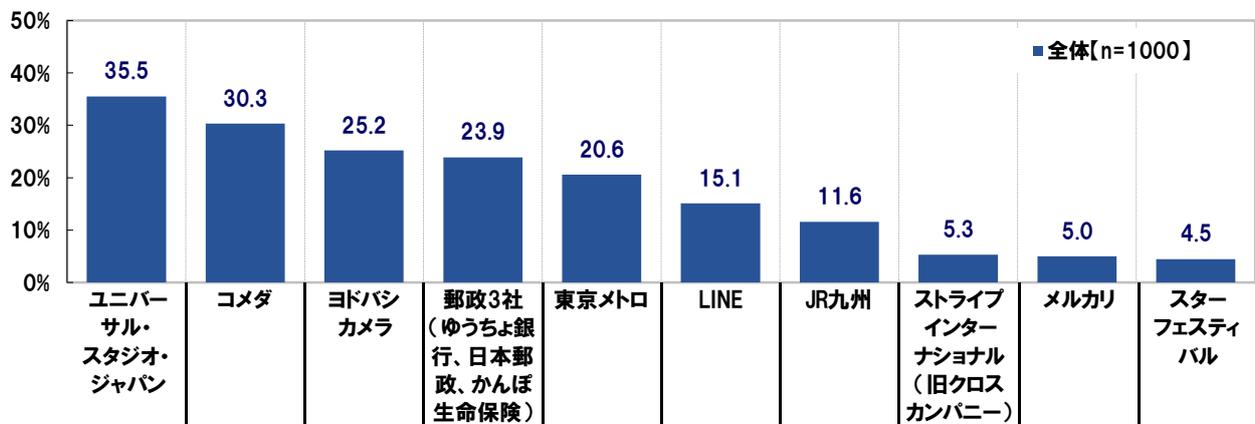
◆株主優待がつくなら投資したい会社 1位は「USJ」

◆「働く女性を応援する企業への投資に関心あり」女性投資家の6割強が同意

さらに、もし、自社サービス・商品の株主優待をつけてくれたら、魅力的だと思う会社を聞いたところ、「ユニバーサル・スタジオ・ジャパン」が35.5%で最も高く、次いで、珈琲店などをチェーン展開する「コメダ」が30.3%、大手家電量販店の「ヨドバシカメラ」が25.2%で続きました。女性投資家は、これらの会社が提供するサービスや商品を魅力的に感じているのではないのでしょうか。そのほか、トップ10にはアパレルの製造・販売を行う「ストライプインターナショナル(旧クロスカンパニー)」(5.3%)やフリマアプリの「メルカリ」(5.0%)、宅配サービスの「スターフェスティバル」(4.5%)などがランクインしました。[図14]

[図14]

◆もし、自社サービス・商品の株主優待をつけてくれたら、魅力的だと思う会社 [複数回答形式] ※全体の上位10位までを抜粋

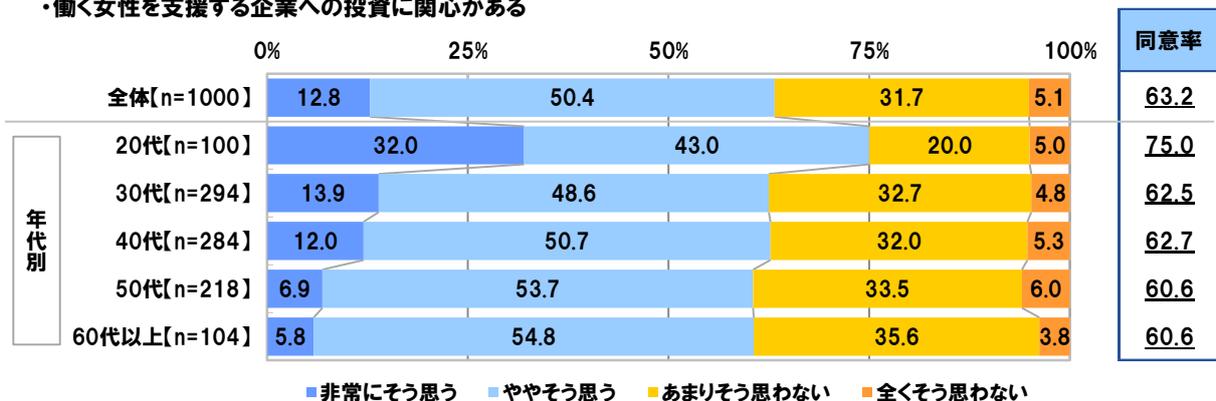


また、「働く女性を支援する企業への投資に関心がある」か聞いたところ、同意率は63.2%となりました。昨今では、「成長戦略の重要な柱」として、女性の活躍推進に注目が集まっていますが、女性が就労しやすい労働環境整備に積極的に取り組む会社や、働く女性に優しいサービスや商品を展開する会社など、「働く女性の味方」になりうる会社を投資で支援したいと考える女性投資家が少なくないようです。[図15]

[図15]

◆どの程度同意するか [単一回答形式]

・働く女性を支援する企業への投資に関心がある



◆女性投資家が注目する、各界の若手有望株ランキング！

スポーツ界1位「大谷翔平選手」、お笑い界1位「おかずクラブ」、俳優界1位「広瀬すずさん」

ところで、“有望株”という言葉は、将来有望な人物に対して用いることもありますが、流行の兆しに敏感な女性投資家は、様々な分野で活躍する有名人・芸能人の中で、どんな若手に注目しているのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、スポーツ界の若手有望株(将来、大物になりそうな若手)として思い浮かぶのは誰か、自由回答形式で聞いたところ、1位は投手と打者の“二刀流”で活躍するプロ野球の「大谷翔平選手」(147名)、2位は高校野球で活躍し、今年プロ野球デビューとなる「オコエ瑠偉選手」(72名)、3位は世界卓球の団体戦で銀メダルを獲得した「伊藤美誠選手」(51名)と、フィギュアスケートの“世界歴代最高得点”の記録を持つ「羽生結弦選手」(51名)が同数で並びました。

次に、お笑い界の若手有望株として思い浮かぶのは誰か、自由回答形式で聞いたところ、1位は抜群の演技力で人気を博している「おかずクラブ」(30名)、2位は昨年のM-1グランプリ王者となった「トレンディエンジェル」(24名)、3位は新しいリズムネタで再ブレイクしている「オリエンタルラジオ」(22名)となりました。

さらに、俳優・女優界の若手有望株として思い浮かぶのは誰か、自由回答形式で聞いたところ、1位は数々の新人賞を受賞している「広瀬すずさん」(75名)、2位は映画やテレビドラマの主演女優として活躍を続けている「有村架純さん」(54名)、3位は昨年の連続テレビ小説でヒロインをつとめた「土屋太鳳さん」(34名)となりました。いずれも今年の日本アカデミー賞で新人俳優賞を受賞した、実力派人気女優がトップ3となっています。そのほか、男性俳優では、「菅田将暉さん」(29名)や「窪田正孝さん」(12名)が上位にランクインしました。[図16]

[図16]

◆若手有望株(将来、大物になりそうな若手)として思い浮かぶ有名人・芸能人 [各自由回答形式] ※全体の上位10位までを抜粋 ※全体(n=1000)

・スポーツ界の若手有望株

順位	回答	人数
1位	大谷翔平	147
2位	オコエ瑠偉	72
3位	伊藤美誠	51
	羽生結弦	51
5位	錦織圭	37
6位	田中将大	24
7位	宇野昌磨	21
8位	高梨沙羅	18
9位	白井健三	17
10位	五郎丸歩	11

・お笑い界の若手有望株

順位	回答	人数
1位	おかずクラブ	30
2位	トレンディエンジェル	24
3位	オリエンタルラジオ	22
4位	メイプル超合金	13
5位	NON STYLE	12
	ピース	12
7位	とにかく明るい安村	11
8位	あばれる君	10
	横澤夏子	10
10位	オードリー	9

・俳優・女優界の若手有望株

順位	回答	人数
1位	広瀬すず	75
2位	有村架純	54
3位	土屋太鳳	34
4位	綾瀬はるか	33
5位	波留	30
6位	菅田将暉	29
7位	高畑充希	18
	黒木華	18
9位	芦田愛菜	14
10位	窪田正孝	12
	二階堂ふみ	12

## ▼女性投資家は自動運転・家庭用ロボット・再生可能エネルギーをどうみる？

◆事故を起こさない自動運転車があったら？7割以上が「価格次第で買ってみよう」

◆家事も会話もできる家庭用ロボット「20万円」なら女性投資家の4人に1人以上が購入か

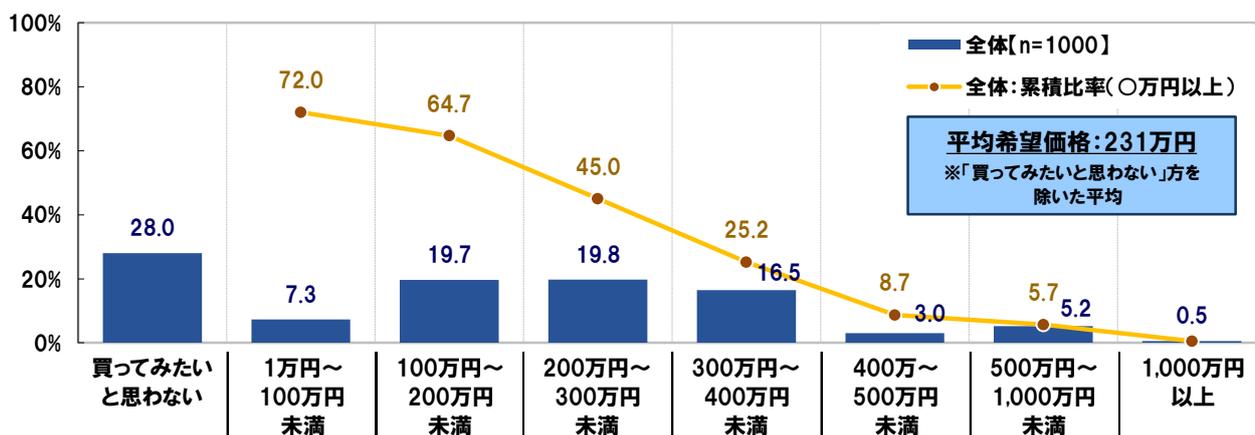
“自動運転”や“家庭用ロボット”など、先進的な技術を活用した商品が実用化されたら、女性投資家は“消費者の立場”として、どの程度の興味を示すのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、もしも、事故を起こさない自動運転車が発売されたら買ってみようと思うか、買ってみよう場合は希望価格を聞いたところ、「買ってみようと思わない」が28.0%、具体的な金額を回答した方(価格次第で買ってみようと思う方)が72.0%となりました。安全性が担保された場合、7割以上の方は自動運転車の購入に興味を抱くようです。希望価格では、「100万円～200万円未満」(19.7%)や「200万円～300万円未満」(19.8%)、「300万円～400万円未満」(16.5%)に回答が集中しました。「200万円以上」で購入してみたいとの回答を累計すると45.0%、「300万円以上」では25.2%となっています。安全な自動運転車が200万円で発売されたら、4割半の女性投資家が、300万円なら2割半が購入してみたいと感じるようです。[図17]

[図17]

◆買ってみようと思うか、買ってみよう場合は希望価格はいくらか [自由回答形式]

・もしも、事故を起こさない自動運転車が発売されたら

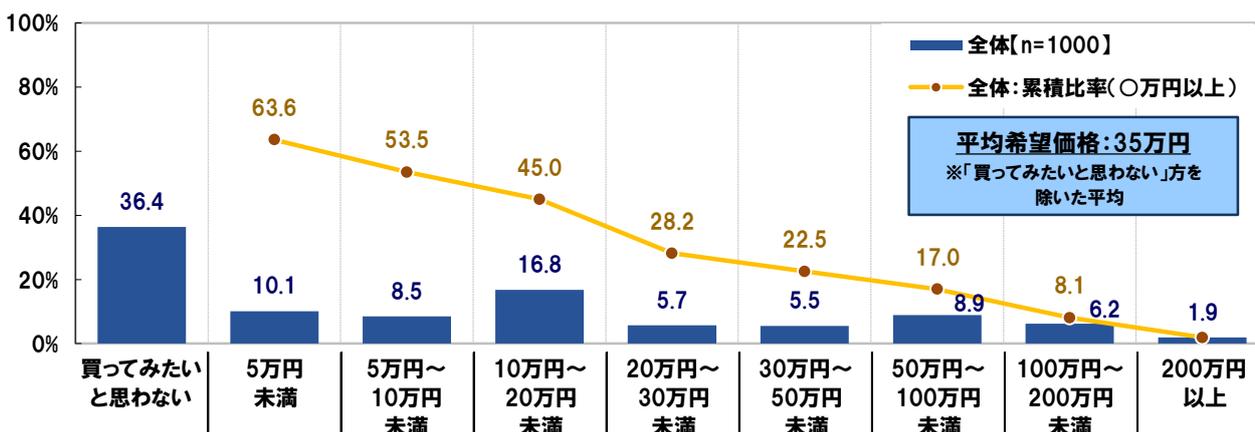


次に、もしも、自然な会話や簡単な家事の手伝いができる家庭用ロボットが発売されたら買ってみようと思うか、買ってみよう場合は希望価格を聞いたところ、「買ってみようと思わない」が36.4%、具体的な金額を回答した方(価格次第で買ってみようと思う方)は63.6%となりました。希望価格では、「10万円～20万円未満」(16.8%)に回答が集中しました。また、「5万円以上」の累計では53.5%、「20万円以上」では28.2%となっています。家庭用ロボットの販売価格が5万円なら半数以上、20万円なら4人に1人以上の女性投資家が買ってみようと思うようです。[図18]

[図18]

◆買ってみようと思うか、買ってみよう場合は希望価格はいくらか [自由回答形式]

・もしも、自然な会話や簡単な家事の手伝いができる家庭用ロボットが発売されたら



◆電力自由化への関心は？「値上がりするとしてもクリーンな電力に乗り替えたい」5割半

◆環境への投資？女性投資家の4人に1人が「月額2,000円増で済むなら、クリーンな電力を選択」

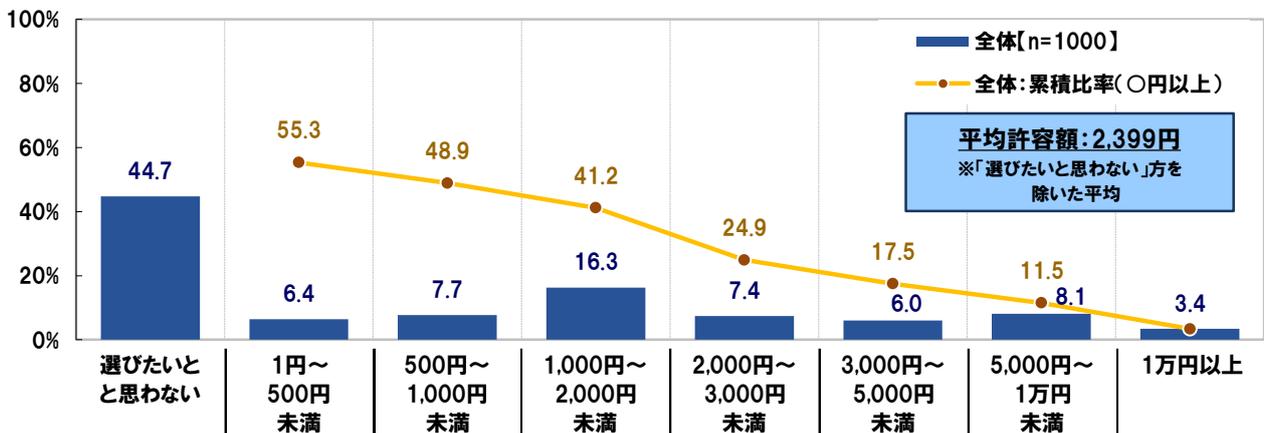
また、今年は“電力自由化”がスタートし、一般家庭でも、電力を供給する事業者を選択することが可能となりました。女性投資家は、支払うコストが増えたとしても、“クリーンな電力”を選択したいと思うのでしょうか。

全回答者(1,000名)に、もしも、100%再生可能エネルギー発電の電力会社を選べるとしたら、月々の利用料金が値上がりするとしても選びたいか、選びたい場合は許容できる値上がり額(月額)はいくらか聞いたところ、「選びたいと思わない」が44.7%となり、具体的な金額を回答した方(値上がりするとしても選びたい方)は55.3%となりました。半数以上の方は金銭的なデメリットがあってもクリーンな電力を選びたいと考えているようです。許容できる値上がり額(月額)では、「1,000円～2,000円未満」(16.3%)に回答が集中しました。また、「1,000円以上」の累計では41.2%、「2,000円以上」では24.9%となっています。100%再生可能エネルギー発電という仮定の下での結果ですが、月額2,000円程度のコスト増であれば、女性投資家の4人に1人はクリーンな電力を選択したいと考えるようです。[図19]

[図19]

◆月々の利用料金が値上がりしたとしても選びたいか、選びたい場合は許容できる値上がり額(月額)はいくらか [自由回答形式]

・もしも、100%再生可能エネルギー発電の電力会社を選べるとしたら



## ■■ 調査概要 ■■

- ◆調査タイトル : 女性投資家の生活実態調査2016
- ◆調査対象 : ネットエイジアリサーチのインターネットモニター会員を母集団とする  
全国の20歳以上の女性投資家  
(日本株式、外国株式、公社債、投資信託、REIT、金・プラチナなどの  
金融資産に現在投資している女性)
- ◆調査期間 : 2016年3月4日～3月9日
- ◆調査方法 : インターネット調査
- ◆調査地域 : 全国
- ◆有効回答数 : 1,000サンプル  
(有効回答から1,000サンプルを無作為抽出)
- ◆実施機関 : ネットエイジア株式会社

## ■■ 報道関係の皆様へ ■■

本ニュースレターの内容の転載にあたりましては、  
「スパークス・アセット・マネジメント調べ」と付記のうえ  
ご使用いただきますようお願い申し上げます。

## ■■ 本調査に関するお問合せ窓口 ■■

会社名 : スパークス・アセット・マネジメント株式会社  
所在地 : 東京都品川区東品川 2-2-4 天王洲ファーストタワー16F  
会社 HP : <http://www.sparx.co.jp/>  
  
担当 : 経営管理部 広報・IR チーム  
メールアドレス : [InvestorRelations@sparxgroup.com](mailto:InvestorRelations@sparxgroup.com)  
  
TEL : 03-6711-9200(代表)  
FAX : 03-6711-9201(代表)